

2025オンラインセミナー12

頭頸部がん患者の コミュニケーションと食支援

講師 谷合信一先生(防衛医科大学校)

頭頸部がん患者は、コミュニケーションや摂食など日常生活に支障をきたすことが少なくありません。そのため、頭頸部患者の治療では治療効果と共に、患者の社会参加や生活の質（QOL）を考えながら支援していくことが求められます。また、頭頸部がん患者にとって「コミュニケーション」や「食べる」といったことは口腔器官の機能向上と栄養状態の向上につながります。このように頭頸部がん患者では医学的治療をしながらリハビリテーションを通じて生活機能を支えるということが求められます。加えて、状態の変化に眼を向けて臨機応変に支援していくことも求められます。本セミナーでは、頭頸部がん患者へのコミュニケーション支援と食支援について、臨床での実践や支援の工夫をお伝えします。患者一人ひとりの尊厳を守り、治療と生活の両立を保障するために、ぜひご参加ください。

第1回 頭頸部がん患者のコミュニケーション支援

2026
3/6
(金)

頭頸部がんの治療後には、発声や発語を中心にコミュニケーションに困難を抱える方が少なくありません。これらは、日常生活や社会参加を妨げ、孤立感や心理的負担につながることがあります。頭頸部がん患者が自身の思いや情報を正しく伝えられるようにするための支援について、臨床現場での実践的な工夫やリハビリテーションを紹介します。

第2回 頭頸部がん患者の食支援

2026
3/13
(金)

頭頸部がん患者の疾患や医学的治療は患者の食の楽しみや栄養摂取に影響を及ぼします。誤嚥のリスクが高く、必要な栄養を摂ることが難しい方もいます。その結果、体力や生活の質の低下につながることも考えられます。本セミナーでは、頭頸部がん患者の摂食や嚥下リハビリテーションの実際をはじめ、臨床現場で行われている具体的な食支援について学びます。

【開催時間】 19：00～20：15

【参加費】 1講座につき 当研究所会員 1,000円 非会員3,000円

【申込方法】 右記のQRコードからお申込みください。

*詳しくはホームページをご覧ください。

〔HP〕 <https://fc-science.or.jp>



一般社団法人 食とコミュニケーション研究所